

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和6年度第6回 相模原市子ども・子育て会議		
事務局 (担当課)		こども・若者未来局 こども・若者政策課 電話042-769-8315 (直通)		
開催日時		令和6年9月27日(金) 午後6時から午後7時38分まで		
開催場所		けやき会館2階 職員研修所 大研修室		
出席者	委員	14人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	23人(こども・若者政策課長ほか22人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開 会 2 議 題 「(仮称)次期相模原市子ども応援プラン」について 3 その他(情報提供) 「社会的養育推進の基本的方向性」の見直しについて 4 閉 会		

1 開会

片山会長の挨拶の後、次第に沿って進行された。

2 議題

(仮称)次期相模原市子ども応援プランについて、事務局から意見を反映した計画素案等について説明した。委員からの意見、質疑応答は次のとおり。

<資料1別紙 さがみはら子ども応援プラン(相模原市子ども計画)素案について>
(野口委員)79ページについて、福祉のしおりに記載されている発達障害に関する情報を載せていただきたい。

(事務局)掲載を検討する。

(石井委員)P82基本目標9の図表について、「子育て広場」「ファミリー・サポート・センター」「ふれあい親子サロン」の3つが挙げられているが、これだけでは地域社会で行っている子育てを応援する全ての活動が見えない。いろいろな地域活動を「その他」として掲載すべきと考える。また、次ページ②の主な取組に「さがみはら子育て支援者ネットワーク事業」があり、地域社会で行っているそれぞれの活動などの数値が出たら良いと考える。

(事務局)掲載をするにあたり数値が必要となるため確認する。

(石井委員)ネットワーク事業については、子どもの数字が大きく、個人や団体活動は見えにくい数値になっているため、市で全ての数値を把握することは困難と考えるがいかがか。

(事務局)当該資料については、令和5年度に就学前児童の保護者に対して実施した市民ニーズ調査が基になっているため、図表の中に完全に溶け込んだ形で示すのは難しいが、何らかの形で同様の数字があれば示させていただきたい。

(石井委員)P81に記載されている施策の方向と主な取り組みについて、1～4と優先順位をつけて掲載しているように見えるが、どのような意図で表記しているのか。

(事務局)P44、45に掲載されている表(体系)の順番である。掲載順は変更が可能なたため、何かあれば意見を伺いたい。

(石井委員)社会の理解を広めるという意味では4番が1番にくるのが良いと思う。

(増田委員)P49ページの③「子どもの居場所の確保・充実」について、「すべての子どもが安全に安心して放課後の時間を過ごすことができるよう」と記載があるが、対象範囲は放課後の時間だけではない。例えば、相模原市以外の自治体では朝の登校時に教員の勤務時間前は校門を閉めて子どもたちは門の前で待つところもある。

教員の勤務時間前でも受けられる体制を整えることを考えると、放課後に限らない「放課後等の時間を過ごすことができるよう」など幅を持たせることで、保護者がすべての時間において子どもが安心して過ごせることを市として保障するようなことを組み入れてはどうか。

(事務局) 本件については、児童クラブの待機児童対策に取り組みに係る文章として放課後の時間を過ごすという表記をしている。登校時の課題については市としても認識しているが、当該内容を記載するとなると、全体的に内容を変えなくてはならないため、このままの記載とさせていただきたい。

(押田委員) P49の本計画の推進に関わる重要な視点の見せ方について、重要な視点に紐づいて具体的にどういった施策をするのかなど、次の基本目標などにつながっているような表記が良いと考える。当該計画はボリュームがあるため、重要なことがどこに書いてあるのか分かりやすくした方が良いと思う。

(片山会長) P47に章の見方という案内があるが、ここが重要な視点とつながっているということがわかるような表記の工夫ができるのか。

(事務局) 4つの視点それぞれに関わる基本目標を表記することについては可能なため検討する。

(片山会長) 子ども・子育て支援事業計画は法令に基づいて作成しており、子育てに関する各事業に市町村が取り組んでいるが、子どもの数が減少していることもあり、乳幼児期の保育の保障が量の保障から質の保障に変わってきている。今後は保育の質の保障を考えていく必要があるが、制度がかなり複雑である。企業型保育事業と事業所内保育事業の違いを理解し、慎重に扱っていただきたい。国の事業ということで予算もあり、良い保育の実践をしているところもあるが、企業型保育事業に関しては、様々な問題を起こしている園もあるため、慎重に扱っていただくことが必要。

また、子どもの声を聞くことについて、他市町村では子ども会議を開いて意見を次期計画に反映させるところもある。市町村の規模により取り組み方に差異があるのは止むを得ないとは思いますが対応していただきたい。

(安西委員) P84の基本目標9の成果指標について、前回会議では地域で活動している団体数などを個人数等で表記する等の意見があったが、何か改善があったのか。

(事務局) 団体数と登録団体の人数が併存している状況のため、人数に還元できるかを検討しているが、毎年人数確認を行い評価していくことは現状困難である。また、子育て応援店の数や設置箇所なども含めた数字として指標も検討したが、良い指標が出てこなかった。

(安西委員) 現状は理解したが、現実として人員不足や担い手の固定化・高齢化などにより、基準値と目標値の差が大きくなるため、個々に目標値を設定した方が良いと考える。引き続きこの部分に対して検討していただきたい。

(片山会長) 前回会議にて人数と団体数が合算された数値が成果指標となっている旨

の意見があった。将来的には指標を分けることも是非あったほうが良いと思う。

(事務局) 目標値は合算した形で設定するが、毎年の実施状況報告の際には詳細な状況を報告するなど、見えない部分をできるだけ示す工夫を行いたい。

(朝比奈委員) 目標値について、P84の成果指標「地域とつながりがあると考える幼児保護者の割合」が40.8%から46.8%と非常に微々たる上昇に対し、P81の成果指標「子育てしていることを社会に温かく見守られていると感じる市民の割合」は16%から67%まで跳ね上がっている。成果指標ごとに目標値の設定幅が異なるが、どのように決めているのか伺いたい。

(事務局) P81の成果指標については、令和5年の基準値がかなり低いですが、以前はもう少し高い水準を保っていた。詳しい分析はできていないが、コロナのタイミングで大きく落ちている状況である。令和11年の目標値については、コロナ前の水準を基に目標値を設定して目指していくこととなったため、目標値はあまり下げずに設定しているところである。

(朝比奈委員) 各成果指標の目標値に係る設定根拠を今後提示していただきたい。

(園田副会長) 児童福祉法の改正があり、次期計画は法改正に沿った内容が必要である。改正法では子どもの意見表明について、意見表明等支援員を配置することや市で定めている児童福祉審議会とは別の外部組織を設置して、子どもが意見表明できる仕組みをつくるのが謳われている。本市の現状を伺いたい。

(事務局) 子どもの意見表明に関しては、法改正により努力義務となっているため早期に検討する予定である。仕組みの中で子どもが意見を言いたい場合は、審議会で見受けるとなっているため、児童福祉専門分科会の下部に児童相談所措置部会などの部会があるので、そのような場で意見をいただくことを検討している。

(園田副会長) 会議体の設置には外部の意見が重要となるため、既存の会議体ではなく第三者で構成された新たな会議体が必要である。

(事務局) 現在、審議会の委員は外部の社会的養護に精通している方、弁護士、医者、学識経験者などで構成している。意見表明等支援事業については独立性のアドボカシーを確保するのが大事だと思っているため、基本は第三者が意見を聞く方向で考えている。

資料1 「第3次相模原市子ども・子育て支援事業計画（素案）について（答申）について」、について事務局より説明した。

意見等なし

資料2 「(仮称)次期相模原市子ども応援プラン（相模原市こども計画）の計画名について」、について事務局より説明した。

意見等なし。

資料3「子ども子育て会議の所掌事務の追加および委員構成の見直しについて」について、事務局より説明した。

意見等なし

3 その他

資料4「社会的養育推進の基本的方向性」の見直しについて、事務局より説明した。

(片山会長) P8について、今まで記載されていなかったことが新規に記載されているが、どのような意図があるのか。

(事務局) 国から様々な整備目標があり、その内容を記載している。また、母子生活支援施設については、現行では「その他」の項目内で記載していたが、具体的に項目を記載するようにした。

(園田副会長) 児童心理治療施設の方向性は、現在どのようになっているのか。また、子どもをわいせつ行為から守ることについてはどうなっているのか。

(事務局) 児童心理治療施設について、現在市内にはないため、入所する場合は市外の施設を借りて入所支援をしている状況である。必要性はあると思っているため、検討を進めている状況である。子どもをわいせつ行為から守ることについては、今回の見直しの検討会では、国の策定要領を踏まえながら意見交換を行っており、具体的な意見は出ていない。

(園田副会長) わいせつの部分は、国の基準に応じて条例に新たに盛り込む可能性があると思われるので注意いただきたい。

4 閉会

事務局より、今年度中に時期は未定だがあと2回程度会議を開催予定。来月は書面での会議となる旨を伝え、閉会した。

相模原市子ども・子育て会議委員名簿

(五十音順)

番号	氏名	役職・推薦団体	出欠
1	あさひな たろう 朝比奈 太郎	相模原市私立保育園・認定こども園園長会	出席
2	あんざい しゅんいち 安西 俊一	相模原市学童保育連絡協議会	出席
3	いしい やすこ 石井 康子	みらい子育てネットさがみはら連絡協議会	出席
4	おしだ ゆうすけ 押田 裕輔	公募市民	出席
5	かたやま ともこ ◎片山 知子	和泉短期大学児童福祉学科 特命教授	出席
6	かわい たけひこ 川井 赳彦	一般社団法人 相模原市幼稚園・認定こども園協会	出席
7	ごとう りょう 後藤 亮	公募市民	出席
8	ささみね ゆか 笹嶺 由香	相模原市立小学校長会	出席
9	そのだ いわお ○園田 巖	東京都市大学人間科学部准教授	出席
10	たがわ つぐよ 田川 継世	一般社団法人 相模原市ひとり親家庭福祉協議会	出席
11	のぐち かずよ 野口 和代	特定非営利活動法人 相模原市障害児者福祉団体連絡協議会	出席
12	ばば まゆみ 馬場 眞由美	相模原市民生委員児童委員協議会	出席
13	ふせ あきよし 布施 昭愛	相模原商工会議所	欠席
14	ますだ たかのり 増田 貴範	日本労働組合総連合会神奈川県連合会 相模原地域連合	出席
15	みうら ともり 三浦 友則	相模原保育室連絡協議会	出席

◎会長、○副会長